

お話 『紫式部、石山寺で筆をおこす』

歌人 林和清

能
源氏供養
吉浪 壽晃

二〇二四年度 大津市伝統芸能会館主催能楽公演
特別企画

紫式部の筆はしる 〜石山寺と源氏供養〜

2024年4月7日(日)
14時開演(13時30分)

大津市伝統芸能会館
後援 大本山石山寺

紫式部の筆はしる

石山寺と源氏供養

2024年
4月7日 [日]
14時開演
(13時30分開場)

〈お話〉

『紫式部、石山寺で筆をおこす』 歌人 林 和清

〈能〉

女 吉浪 壽晃

源氏供養

安房院法印 岡 充

大鼓 谷口 正壽
小鼓 曾和 鼓堂

笛 左鴻 泰弘

後見 橋本 光史
味方 玄

谷 弘之助 大江 信行
深野 貴彦 浦部 幸裕
松野 浩行 田茂 井廣道

終演 十六時半頃

新年度、主催能楽公演の第一弾は、特別企画として近江ゆかりの演目『源氏供養』を上演いたします。近江の石山寺を舞台に、『源氏物語』の作者・紫式部が源氏を供養し、法華経の功德を説く大変面白い趣向の能です。

また演能前には、歌人の林和清氏をお招きし、石山寺とそこに参籠して、『源氏物語』の着想を得たと伝えられる紫式部の関係を、解説して頂きます。



よしなみ としあき
吉浪 壽晃 観世流シテ方

一九六五年生まれ。父は故吉浪準一。故井上嘉介、井上裕久に師事。国指定重要無形文化財総合指定認定保持者。東京芸術大学卒業。同大学にて二五世観世宗家故観世左近・故藤波重満に師事。現在までに石橋、狸々乱、千歳、道成寺、道成寺 赤頭、望月、安宅、砵を披く。吉浪松順会・吉浪壽晃の会を主宰。京都朝日カルチャーセンター講師。公益社団法人能楽協会京都支部常議員。公益社団法人京都観世会理事。



はやし かずよ
林 和清 歌人

一九六二年京都市生まれ。現在も在住。二十三歳で塚本邦雄に師事。短歌誌「玲瓏」に入会。現在、「玲瓏」選者・編集委員。一九九一年第一歌集「ゆるがるれ」にて第十八回現代歌人集會賞受賞。以下、「木に縁りて魚を求めよ」「匿名の森」最新歌集「朱雀の聲」など、歌集五冊上梓。ほかにエッセイ集「京都千年うた紀行」など。現在担当中の講座は、「源氏物語」「百人一首」「万葉集」「古事記」をはじめ一か月五十講座。NHK総合テレビ「百人一首歌人紀行」、KBS京都ラジオ「今朝のみそひと文字」などテレビラジオ出演も多数。現代歌人集會理事長、現代歌人協会会員。

会場アクセス

京阪電車石坂線「大津市役所前」駅から南へ約400m
JR琵琶湖線「大津」駅からタクシーで約10分
JR湖西線「大津京」駅からタクシーで約5分
来館者専用無料駐車場(先着50台程度)



座席図



入場料

前売 S席 5,500円 A席 5,000円
(当日 各500円増)
発売日 友の会:12月1日(金) 一般:12月9日(土)
各発売日の受付は
窓口10時より電話予約11時より開始いたします。

前売取扱

大津市伝統芸能会館 tel 077-527-5236
堅田駅前観光案内所 tel 077-573-1000
石山駅観光案内所 tel 077-534-0706

※未就学児のご入場はお断り申し上げます。
※記載内容は変更になる場合がございます。

ご来館される方へのお願い

公演は、滋賀県等の感染症拡大防止ガイドラインに基づいて実施をいたします。発熱、体調不良の場合はご来館をお控えください。感染症拡大防止にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

主催/大津市伝統芸能会館 指定管理者 株式会社コンベンションソングージ
後援/三井寺 京都新聞 大津市議会 大本山石山寺
チラシ使用写真(両面とも) / 『源氏供養』河村 晴道 撮影:金の星渡辺写真場